

子どもに関する予防接種レディネス尺度:7C

Authors

Franziska Rees¹, Mattis Geiger¹, Lau Lilleholt², Ingo Zettler², Cornelia Betsch³, Robert Böhm², Oliver Wilhelm¹

¹Ulm University, Germany, ²University of Copenhagen, Denmark, ³University of Erfurt, Germany

翻訳：町田征己、小島多香子、ポピエルヘレナ明子、小田切優子、種市尋宙、井上茂

Citation

Rees, F., Geiger, M., Lilleholt, L., Zettler, I., Betsch, C., Böhm, R., & Wilhelm, O. (2021, November 6). Measuring parents' readiness to vaccinate themselves and their children against COVID-19. <https://doi.org/10.31234/osf.io/wrgce>

この尺度は、自分の子ども（未成年）に予防接種を受けさせる（受けさせない）意向の予測因子を評価するために開発されたものである。この尺度は、5C antecedents of vaccination scale (Betsch et al., [2018](#), [2019](#))を基に設計・拡張され、予防接種の意思決定の利用可能な行動／社会科学に関する洞察をまとめている (Betsch et al., [2015](#); Brewer et al., [2017](#) など)。予防接種レディネス尺度:7C(Geiger et al., [2019](#))を自分の子ども（未成年）に関する保護者の予防接種レディネスに適応させたものである。

現在の形では、この尺度は一般的な予防接種を対象としているが、特定の予防接種（COVID-19 など）にも対応できる。これは、予防接種対象者が質問に答える際に考えなければならないことを説明文に追加するか、質問の文章自体を変更することで可能となる（後者の場合、妥当性の検証が推奨される）。

この尺度は、自分の子ども（未成年）に関する保護者の予防接種レディネスを評価するために作成された。この尺度で予防接種レディネスを評価するにあたっては、保護者自身の子どもを全員、総じて評価をするべきではない。回答者に2人以上の子どもがいる場合、それぞれの子どもの予防接種レディネスを測定すべきである。時間に余裕がない場合は、1人の子ども（例えば、一番年齢が低い子）だけについて予防接種レディネスを評価することもできる。

注釈：

- ・(R)は、回答を処理する前に再コード化する必要がある質問を示している（例：特定のサブスケールまたは全スケールの回答を平均化する時）。
- ・太字の質問は、これらの項目がショートフォーム（7項目）の際に使用されることを示している。
- ・対象者に提示する際には、質問紙の(R)を取り除き、ショートフォームの項

目の太字を消去することを推奨する。

- ・アイテムはコンポーネントごとに並べられているが、対象者には（事前に）完全にランダム化した順序で提示することを推奨する。（対象者毎のランダム化でもよい。）

- ・対象者には、「全く同意しない」から「強く同意する」までの7段階で回答してもらうことを推奨する。

